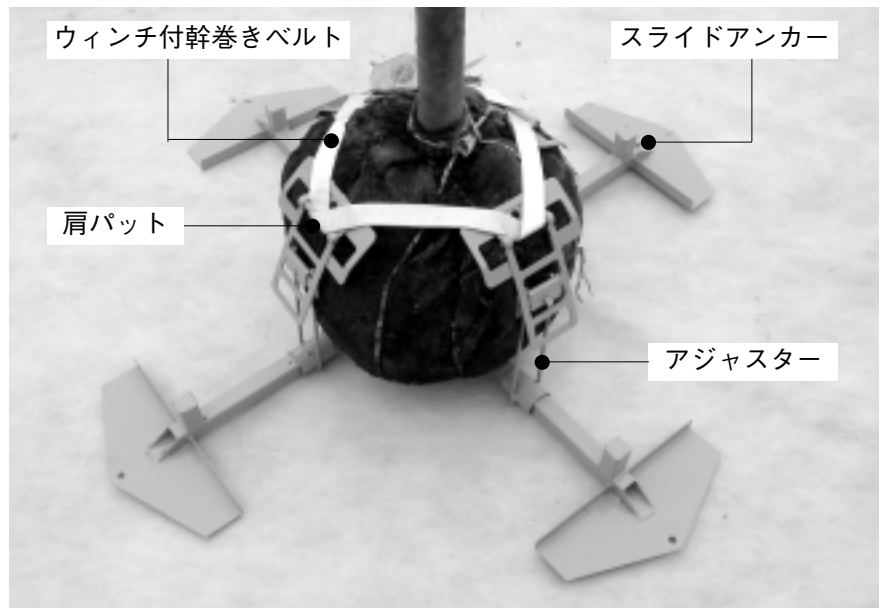


地下支柱

フィット・スーパーグラウンドサポート

野山で自然に生えている樹木は、根を四方に張り自らの体を支えているため、支柱の必要がない。しかし、街路樹や建物外構など、都市に移植された樹木は根が伸びておらず、転倒防止のために支持材を設置する必要がある。しかし、街路樹や建物外構などに多く利用される高木の幼木の根鉢は丸くて小さく、そして土が軟らかいといった特徴がある。そのため、今までの地下支柱では上手くホールドできずに強く支持することが出来なかった。

新型地下支柱フィットSGSでは、新型パットで根鉢をしっかりと優しく包み込み、ホールドする。それにより、根鉢は壊れ難くなり、樹木の転倒を防ぐことが出来る。(主な特徴は下図に記載)



【主な特徴】

■ウィンチ付幹巻きベルト

「部分・分解ベルト」を導入！樹木の成長過程で、幹がベルトに食い込むことを防ぐため、微生物の働きで分解し、最終的に水と二酸化炭素となる生分解性ベルトを部分的に取り入れている。

■スライドアンカー

アンカーを土中へ打ち込み、台風にも耐えうる抵抗力を確保する。拡張自在なので、街路樹といった小さい植栽樹にも対応可能。

■優しく、強く包む「肩パット」！

中高木は根鉢が比較的丸く、土壌自体がやわらかいため、倒れやすい傾向がある。そこで4段階の高さ調節が可能な新型肩パットを開発し、根鉢を面でしっかりと押さえ、しっかりと支える。

■アジャスター

横に倒すことが可能で、アンカーの打ち込み時、邪魔にならない親切設計。

施工の流れ



①根鉢の高さに合わせて肩パットにアジャスターをセット



②肩パット・アジャスターをスライドアンカーに挿し込む



③グラウンドキーパーにスライドアンカーを挿し、地下支柱を植穴にセット



④スライドアンカーを植穴側壁に打ち込む



⑤樹木をセット



⑥肩パットにベルトをセット



⑦ウィンチによりベルトの締め込み



⑧地下支柱設置完了

タイプ別対応樹木

フィット・SGS	タイプS	C=0.10~0.19m	H=2.5~3.5m
フィット・SGS	タイプM	C=0.20~0.29m	H=3.0~5.0m
フィット・SGS	タイプL	C=0.25~0.34m	H=4.0~6.0m